

広報ほんべつ

本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ
HONBETSU

2020

April
No.1098

4月

表紙

勇足中学校
第72回卒業証書授与式



Pick up

- ✿ 新型コロナウイルス感染症についてのお知らせ
- ✿ 町政・教育行政執行方針、令和2年度当初予算
- ✿ 特集 本別町のお金の使いみち
- ✿ 第2期 子ども・子育て支援事業計画を策定しました

新型コロナウイルス感染症についてのお知らせ

連日、テレビ等で新型コロナウイルス感染症について情報が発信されています。

本別町ではまだ感染者は出ていませんが、道内での感染者が多く発生している状況で、町民の皆さんは、日々落ち着かない気持ちで過ごされていると思います。

外出の自粛や学校の臨時休業がなされるなど、今後どうなるのか見通しが立ちませんが、いま必要なことは落ち着いて行動することが大切です。皆さん一人ひとりが日々行うことのできる感染予防策を実行し、体調不良時は無理せず休み、相談するなど適切な行動を取りましょう。

新型コロナウイルス感染症の予防法は、一般的な感染症の予防法と基本的なことは変わりません。いまいちど感染予防に努め、この状況乗り越えていきたいと思います。

発熱症状がある人は相談を
発熱などの症状がある人は、まずはかかりつけの病院などに相談してください。

町国保病院では、「発熱外来」を開設しています

発熱外来を利用する場合は、受診する前に、まずは病院（☎22-2025）まで連絡をお願いします。

●発熱外来の開設時間

・毎日 午前の部 午前11時から正午まで
 （受付は午前11時30分まで）
 午後の部 午後4時から午後5時まで
 （受付は午後4時30分まで）
 夜間の部 午後9時から午後10時まで

※来院の際は、感染拡大の防止のため必ずマスクの着用をお願いします

○新型コロナウイルスの感染の

疑いのある人は、次まで相談ください

・37.5℃以上の熱が4日以上続く人や強いだるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）の症状の人
※次に該当する人は、発熱などが2日程度続く場合は相談してください

★糖尿病・心不全・呼吸器疾患等の基礎疾患のある人、透析を受けている人、高齢者、妊婦

●新型コロナウイルスの相談窓口

・帯広保健所
電 話：0155-12619084
受付時間：平日 午前8時45分から午後5時30分
・北海道保健福祉部地域保健課
電 話：011-20415020
受付時間：平 日 午後5時30分から午後9時
 土 日 祝 日 午前9時から午後5時

○厚生労働省の新型コロナウイルス感染症に係る相談窓口

※聴覚に障害のある人をはじめ、電話での相談が難しい人向け
FAX：03-1359512756
メールアドレス：corona-2020@hlw.go.jp
○症状が無い場合も相談できる窓口（一般向け）
電話番号：0120-565653（フリーダイヤル）
FAX受付：03-1359512756
受付時間：午前9時～午後9時（土日・祝日も実施）

基本の感染症予防について

① 石けんやアルコール消毒液などによる手洗いの励行



手洗いのタイミング
・外出から戻った後
・多くの人が触れたと思われる場所を触ったとき
・咳・くしゃみ、鼻をかんだ後
・症状のある人の看病、お世話をした後
・料理を作る前、食事の前

※洗面台もアルコールもない場合や、小さな子ども、手の不自由な高齢者は、アルコールを含んだウェットティッシュで両手を隅々まで丁寧に拭くのも効果的です

② 正しいマスクの着用を含むせきエチケット

・3つのせきエチケット



現在、予防用にマスクを買われている人が多いですが、感染症の拡大の効果的な予防には、**風邪や感染症の疑いがある人たちに使ってもらうことが何より重要です。**

・マスクは買い占めなくても大丈夫

③ 環境消毒・換気

環境消毒

・家族がよく触れる場所（部屋のドアノブ・照明のスイッチ・リモコン・トイレのレバー等）を消毒します
・1日1～2回、ドアノブ、テーブル、手すり、スイッチなど、手のよく触れる所を、薄めた漂白剤（0.02%次亜塩素酸ナトリウム水溶液）または、アルコールを含んだティッシュで拭きましょう
※漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム水溶液）を使用した場合は、拭いた場所がさびる恐れがありますので、消毒後は水拭きしてください

換 気

・感染を防ぐためには、部屋のウイルス量を下げするために、部屋の十分な換気を行います
・日中は1～2時間に一度、5～10分程度窓を大きく開け、室内の空気を入れ換えます



問い合わせ

本別町新型コロナウイルス感染症対策本部
事務局：本別町健康管理センター ☎22-2219

安心と活力と夢あふれるまちづくり

3月3日の町議会第1回定例会で、高橋正夫町長が町政執行方針を、佐々木基裕教育長が教育行政執行方針を示しました。令和2年度のまちづくりの方向性について、その概要をお知らせします。



町政執行方針を述べる高橋正夫町長

令和2年町議会第1回定例会の開会にあたり、新年度の町政執行に臨む基本的な考え方や施策の大綱について申し上げます。私は、就任以来、一貫して町民の皆さまと歩んできた協働のまちづくりを基本理念に、「未来、ほんべつ」の創造をめざし、将来を担う子供たちの健やかな成長および教育の充実と、安心が確保できるよう健康、福祉、介護、医療、防災など、町民生活を原点にサービス基盤の整備を全力で推進することができました。

町政に臨む基本姿勢

地方自治体を取り巻く環境は、少子高齢化が進行する中で、医

療・介護、子育て支援など社会保障への対応や地域交通の維持、森林環境政策の推進など、果たす役割が拡大する中で、人口減少対策、防災・減災事業の実施、新たな政策課題に直面しており、地方財政を取り巻く環境は、依然、厳しい状況が続くものと考えられます。

① 重要な施策推進の基本的な考え方

本町といえども、自らの地域の将来は自ら決めるという理念のもと、全力でこの課題に取り組みなければならぬと考えているところであります。

①生涯を通じて学び、豊かな心を育むまちづくり
次代を担う子供たち一人ひとりが、郷土に誇りと愛着を持ち、世界に視野を広げ、自らの可能性を発揮し、創造力豊かで新しい時代を切り拓いていく力を身に付けていくことができるよう、家庭・学校・地域が一体となつて日々学ぶ「ほんべつ学びの日宣言」の理念のもと、関係機関・

② 地域資源を生かした豊かなまちづくり

本町の農林業は、豊かな土地資源と自然環境に恵まれ、農業において、基本であります。つくりと基盤整備の推進、更には新たな農業技術の導入や農作業支援組織の整備を図り、農家戸数が減少する中、生産者の規模拡大などにより生産の維持・拡大を図られております。

また、林業も、国土の保全、地球温暖化防止などの多面的機能を有する大切な資源として、農業とともに地域住民の暮らしを守り、本町の基幹産業として地域経済を支えています。

しかしながら、農業を取巻く情勢は、TPP11、日欧EPA、更には日米貿易協定の発効による輸入農畜産物の関税低減・撤廃などにより、国内農業は、かなりの自由化の波にさらされ、農畜産物の国内価格の低下やそれに伴う農業所得の減少などにより、農業・地域経済への影響が大きく危惧されることへです。

このような状況下、本町農業の持続的な発展を目指すためには、農業者が希望と意欲をもって農業を取り組むことができる

よう地域特性を生かした農業振興と課題への対応が重要と考えております。

農地の基盤整備は、町全体を2地区に分け、1地区は令和2年度から、残る1地区も令和3年度から、いずれも道営畑地帯総合整備事業として実施をいたします。また、明渠排水につきましても、計画的な施設管理を図り、改修および整備を進め施設の維持を行ってまいります。

林業の振興は、森林整備計画に基づいた森林整備を推進するとともに、民有林につきましても森林整備事業の更なる推進に取り組みを進めてまいります。

次に、商工業は、消費者と商業者が共感できる愛町購買環境の向上を目指し、安心・安全で魅力ある商店街づくりのため、商工会等と連携し商工業の振興に努めてまいります。また、消費者対策として、複雑化、悪質化する消費者被害の未然防止の取り組みを継続してまいります。

さらに、引き続き「本別町企業誘致条例」および「起業家支援要綱」による商工業への積極的な支援を行うとともに、本別町として体験交流館の積極的な活用促進により、あらゆる産業の発展・振興に不可欠な人材確保により事業所の維持、振興に努めてまいります。

③ 安心と活力あふれるまちづくり

次には、観光の振興は、本別ならではの魅力ある地域資源である「農産物」の活用を積極的に進めるとともに、義経の里本別公園や道の駅などの施設運営や観光イベントの充実を図り、北海道横断自動車道の延伸による長所を生かし、関係人口の増加を促してまいります。

安心と暮らせるまちを願い、町民の総意により宣言していた「福祉でまちづくり」を合言葉に、地域住民、福祉団体、事業者、行政がそれぞれの役割を担い、重層した福祉サービスの充実を努めてまいります。

また、本年度は第3期地域福祉計画の最終年度になることから、計画の重点事業に位置づけられております生活困窮者自立支援体制につきましては、本別町生活困窮者自立支援対策庁内推進会議において関係機関との情報共有や包括的な相談・支援体制を構築してまいります。



本別で子育てしたくなるよう各種施策を展開します

たちが、生き生きと健やかに育つことは、私たちの願いであり、責任であります。

幼児教育・保育の無償化については、国の施策に乗せし、3歳児から5歳児までの給食料を引き続き町負担とし、保護者負担の軽減を図ります。

また、新しい子育て施策として、楽しみながら英語に触れ、国際感覚を育むことを目的に、英語を母国語とする外国人講師を就学前教育・保育施設に派遣いたします。幼児期から英語に触れることの出来る「まら」を発信し、本別で子育てしたくなるような各種施策を展開してまいります。



基幹産業である農業は、地域特性を生かした農業振興、計画的な農地の基盤整備を進めています



介護職員初任者研修や介護職場入門研修を開催するなど、介護人材確保対策を推進します

高齢者福祉および介護保険事業は、「第7期銀河福祉タウン計画」に基づき、高齢者福祉施策の充実を図るとともに、関係機関や町民の皆さまと協力して第8期計画の策定に取り組んでまいります。

介護人材の確保は、引き続き「総合的な介護人材確保対策」を推進するとともに、多様な人材の介護分野への参入を促進するために、これまで開催してきた「介護職員初任者研修」、「介護職場入門研修」を継続してまいります。

地域包括ケアシステムの構築は、認知症施策、在宅医療・介護連携の推進に向け、引き続き町内外の関係機関と連携を図りながら事業を推進してまいります。

権利擁護事業は、社会福祉協議会と連携しながら、法人後見事業の取り組みや担い手の育成、町民からの各種相談や生活課題等に対応する「あんしんサポーターセンター」の運営に対する支援に努めてまいります。

障がい者福祉は、「第1次障がい福祉総合計画」に基づき、住み慣れた地域で生き生きとした生活が送れるよう、障がい福祉サービスの相談支援や切れ目のないマネジメント体制の充実に努めるとともに、第2次計画

策定に取り組んでまいります。健康づくりは、町民一人ひとりが健やかに安心して生活が送れるよう各種検診事業や予防接種などの普及啓発に努め、特に生活習慣病の予防を重点に取り組みとともに、食を通じた健康づくりのポテンシャルとして、食生活改善推進員の養成講座を開催し、地域の健康づくりを推進してまいります。

成人保健は、特定健診の受診率向上に努め、効果的な予防活動を行ってまいります。母子保健は、妊産婦への助成事業、乳幼児健診や保健指導の実施など、子育て包括支援センターを中心に関係機関と連携を図りながら、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行ってまいります。

心の健康づくり事業は、月1回心理カウンセラーによる「心のほっと相談」を継続し、町民のメンタルヘルス向上に努めてまいります。

老人ホームの運営は、利用者のニーズや状態に応じたサービスを適切かつ効果的に提供するともに、持つていける力を最大限發揮いたし、可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう、尊厳を尊重しながら支援してまいります。

介護基盤の整備は、平成27年

6月に「本別町特別養護老人ホーム・養護老人ホームのあり方に関する基本構想」を策定し、清流の里に併設する地域密着型特別養護老人ホームの整備について協議・検討を進めてまいりましたが、社会環境・情勢の変化等により、従来計画のまま進めていくことは難しいと判断いたしました。したがって、今後は介護保険制度や町内の施設間における機能分化・連携などあらゆる動向を踏まえながら、特別養護老人ホームのあり方を引き続き協議・検証してまいります。

次に、国民健康保険は、都道府県への広域化から3年目を迎えます。国民健康保険加入者の負担増などを考慮し保険料率の改正を行わず、国保税や国・道からの交付金等で北海道への納付金を賄えるよう健全運営に努めます。

後期高齢者医療は、今後も高齢者等にかかる医療提供に努め、運営主体である広域連合と連携を図ってまいります。

次に、病院事業は、平成29年度に策定しました病院改革プランを推進し、地域医療の確保を図るとともに、地域包括ケアの構築を進めてまいります。また、病院の運営は、外来患

者数および病床稼働率の維持・向上による収益確保を図りながら、材料費、維持管理費などの経費節減に努め、経営体質の強化を図るとともに、内容・外科の基礎診療科を中心に診療機能の充実を図り、1・5次医療として耳鼻咽喉科、眼科など、町民の医療ニーズに応えた専門診療科の充実に向け、町民の皆さまに信頼される病院づくりに取り組んでまいります。

次に、防災対策は、防災行政無線希望世帯への戸別受信機の設置、屋外拡声子局設備の更新を行い、災害時における行政からの情報を迅速かつ的確に伝達する手段として令和2年度末からの運用を開始します。交通安全対策は、交通事故や飲酒運転根絶に向けた啓発運動、高齢者の交通事故防止に力を入れ、関係機関の協力を得ながら推進してまいります。

④ 快適でやさしいふるさとづくり

本年度の町道整備は、継続事業6路線の道路改良・舗装工事および橋梁長寿命化事業を実施してまいります。

交通手段を持たない町民の足を確保するため、ふるさと銀河

防災行政無線の戸別受信機を設置希望者へ無料貸与し災害時の情報伝達手段の強化を図ります



線代替バス、「帯広・陸別線」、生活維持路線バス「浦幌・本別線」、太陽の丘循環バスや町有バスなどの公共交通機関の安定的な運行に努めてまいります。水道事業は、町民生活や経済活動を支える施設として重要な役割を担っており、引き続き、施設の整備や維持管理を計画的に進め、安全で良質な水を安定的に供給できるよう努力してまいります。

下水道事業は、水洗化の促進を図るとともに、公共下水道区域外で実施している浄化槽整備事業についても、引き続き事業の推進を図ってまいります。

公営住宅の整備は、住環境の向上を図るため「本別町住宅政策推進計画」を基本に実施してまいります。

公園緑地の整備は、全道各地から観光客が訪れます義経の里本別公園をはじめ、その他の公園施設についても快適な環境づくりに努めるとともに、本年度より都市公園安全・安心対策事業を実施いたします。

都市計画は、本町の有効な土地利用を図るため、「本別町都市計画マスタープラン」の見直しを進めてまいります。

また、住宅の改修や新築住宅に対する助成事業、既存木造住宅の耐震性向上を図る耐震改修

等助成事業、空き家住宅等除去支援事業を引き続き実施するとともに、「本別町居住支援協議会」による居住福祉の推進に努め、空き家等対策を総合的かつ計画的に取り組んでまいります。

地籍調査事業は、住民説明会の開催など、令和3年度の事業着手に向けて本格的に準備を進めてまいります。次に、ごみ処理事業の推進は、平成31年4月から資源ごみと小動物以外は、十勝圏複合事務組合が運営する帯広市の「くりりんセンター」への搬入が開始されておりますが、新たなごみ出し方に一日も早く慣れていたけるように、ごみ収集業者と連携を取りながら、ごみの適正処理に向け対応に取り組んでまいります。

⑤ 町民力、地域力、行政力が発揮できるまちづくり

地域コミュニティ意識が多様化する社会に対応するため、引き続き協働の視点で、町民の皆さまと関係団体などと連携し、これまでに培ってきた町民力、地域力、行政力が発揮できるまちづくりを進めてまいります。

併せて、わかりやすい情報の発信に努め、町政の「透明性」を高めてまいります。現在の「第7次本別町総合計

画」の策定作業に入っておりますが、引き続き町民の皆さまとの協働を基本に計画づくりを進めることといたします。地方創生は、引き続き、関連事業を展開することし、町民の皆さまと関係団体へ進捗状況等を説明し、いただいた意見や評価を踏まえるとともに、他の施策との整合性に留意するなどして、適切に対応してまいります。

行財政改革は、第5次行財政改革大綱と推進計画に基づき、本別町の将来展望を見据え、行財政運営のあり方を模索し、簡素で効率的な行政執行を推進するとともに、第6次行財政改革大綱の策定作業を進めてまいります。

「本別町個性あるふるさとづくり寄付金（ふるさと納税）」は、本町の取り組みを全国にPRするとともに、本町の観光資源・地域資源を活用した返礼品（特産品）の充実を図り、有意義な運用を図ってまいります。国際交流・地域間交流活動につきましても、姉妹都市オーストラリアミッチェル、友好都市相島県小松島市との親善訪問・相互派遣事業など相互の友好関係の発展に努め、今後も積極的に交流活動を進めてまいります。



令和3年度からの第7次総合計画について町民の皆さまとの協働を基本に計画づくりを進めます

むすびに、本町を取り巻く環境は一段と厳しさを増しておりますが、これまでと同様、町民の皆さまと築いてきたまちづくりの実績を大切に、「まち」を支える町民の皆さまの頼もしい力を得ながら、より一層、確かな信頼関係を積み重ねられるよう努力するとともに、本別町の個性と元気が発信できるよう、「安心と活力が夢あふれるまちづくり」を目指して取り組んでまいります。

教育行政 執行方針



教育行政執行方針を述べる
佐々木基裕教育長

教育行政執行の 基本的な考え方

平成から令和へと時代は移り、少子高齢化、人工知能をはじめとする技術革新や、グローバル化が一層進展し、複雑で予測困難な社会となつてきています。こうした社会の変化に主体的に向き合いながら、その過程を通して自らの可能性を発揮し、未来を切り拓く力を身に付けることが重要です。

本別町教育委員会といたしましては、これらの社会情勢をしっかりと見極めながら、子供たち一人ひとりが、ふるさとへの誇りと愛着を持ち、世界に視野を広

主要施策の推進

学校運営の推進につきまして、地域全体で子供たちの学びや成長を支える取り組みとして、すでに導入されたコミュニティ・スクールの各専門部会を通じ、地域の教育力を活用しながら、学校の教育を支援する環境づくりに進めてまいります。また、子供たちの発達段階に応じた能力や個性等を最大限に伸ばすため、同一校種間の連携事業を進めることにも、幼児教育から高校教育までを連続的につなぐ異校種間連携事業を推進します。

義務教育の推進につきまして、令和2年度に小学校で新学

び、新しい時代を主体的に切り拓いていく人づくりを目指し、関係機関・団体等と連携を図りながら町民の皆さまの信頼に応えるよう、学校教育の充実、社会教育の振興、文化・スポーツの推進に取り組んでまいります。また、「地域の子どもは地域で育てる」を念頭に、本町ならではの取り組みである「ほんべつ学びの日」の更なる普及と推進事業の充実を図り、本別町総合教育大綱を改訂し、創意工夫を生かした教育を組織的に展開してまいります。

習指導要領が全面実施され、新たにプログラミング教育が必修化されたことから、授業に効果的な教育教材を導入し、学習への関心や意欲を高めつつ、子供たちのプログラミングの思考を育成します。また、4年に一度の小学校用教科用図書改訂と合わせ、児童へ適切な学習指導と学習活動を充実させるため教師用指導書を整備します。

国際理解教育の推進につきましては、英語教育を本別町の学びの軸に位置付け、子供たちが英語で日常的なコミュニケーションを行うことができる力を身に付けられるよう小・中学校に英語指導助手を派遣するとともに、引き続き英語教諭を任用し、義務教育や高校における英語検定対策、生涯学習の場での活用・充実を図ってまいります。

勇足小学校との交流研修につきましては、本年度は、勇足小学校の児童を派遣し、相互交流研修を通して友好を深めます。特別支援教育につきましては、引き続き全ての学校に特別支援教育支援員を配置し、特別な支援を必要とする子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導や関係機関と連携した支援を行っていくため、個別の教育支援計画を活用し、発達段階に応じた

英語指導助手や英語教諭を小中学校へ派遣し、国際理解教育の推進を図ります



教職員が健康でやりがいを持つて勤務し、学校教育の質を高められる環境づくりと児童・生徒の指導を充実したものにすため、学校における働き方改革を進める「本別町アクション・プラン」に基づく取り組みを進めます。

本別高校への支援につきましては、各種支援策を継続するほか、新たな支援としてオーストラリア・ミッチェル海外研修派遣事業に取り組んでまいります。また、本別高等学校のPRにつきましても、生徒や保護者、近隣町中学校への訪問活動を積極的に展開してまいります。少子化の影響や希望進路先の多様化により、入学生の確保が大変厳しい状況から、今後における本別高校への支援の在り方等についても関係団体と協議し、その方向性を見出していきます。

食育の推進につきましては、地場産農畜産物、地場加工食品を積極的に使用し、美味しく栄養バランスに配慮した学校給食を提供し、栄養教諭が各学校に出向き、食育に関する指導および授業を行ってまいります。また、食物アレルギーに對しても、除去食や代替食により対応してまいります。

社会教育の推進につきましては、「第8次社会教育中期計画」

に基づき施策について検証と評価を行い、町民一人ひとりが生涯学習の観点に立ち、大人と子どもが共に学びへの関心を高める学習機会の提供とその成果が今後の地域活動に生かされるよう、学び合う環境づくりに努めてまいります。

少年教育では、ジュニアリーダーを育成する「本別・南三陸ふるさと交流研修会」を軸に、自主性や協調性を培い生きる力を身につけることを目的に「ほんべつ元気学宿」と「ブレ元気学宿」を継続して開催してまいります。

ふるさと学習「ほんべつ学」では、まちの魅力を再発見し、郷土愛を育む趣旨のもと、本年度は、各業種の職員研修の一環に位置付け、自身が働く町の良さを学ぶ場を提供し、取り組みを強化いたします。

高齢者自らが積極的に学び、教養・見聞を広める学習機会として「義経教室」を開設し、町の他部局との連携を図りながら進めてまいります。

本別町民芸芸「沖積土」は、第51号となり、オリンピック・パラリンピックの年であることから、「スポーツ」を特集テーマとして発刊いたします。

ほんべつ学びの日の取り組みにつきましては、学びを発信す

る、ほんべつ学びの日総合事業として「学びフェスタ」に、より多くの人に参加いただけるよう創意工夫するとともに、教育委員会、各学校の取り組みに対して、学びの日の理念の普及を図るため、各種事業の推進・充実に努めていきます。

文化振興につきましては、文化祭・音楽祭をはじめとする各種事業を開催するほか、町芸術文化事業振興会と連携して「ほんべつ寄席」を企画し、町民の皆さまに大衆娯楽文化を楽しんでいただく機会を提供してまいります。

図書館につきましては、本町出身の絵本作家「きくちちき」さんの著作本を貸出しセットにして、著者の情報とともに各小学校や保育所、こども園に常設するなど、子供たちの夢を育て、読書意欲につながる取り組みをします。

歴史民俗資料館につきましては、75年前の空襲を風化させないために平和の大切さを未来へ継承する「7月15日本別空襲を伝える」企画展をはじめ、「7・15 忘れられないプロジェクト」と関連講座を開催してまいります。スポーツ振興につきましては、町内小・中学校における「体力テスト」を学校とスポーツ推進委員が協力して実施し、子供た

ちの体力向上に向けた取り組みを行ってまいります。また、「健康スポーツ週間事業」を継続するとともに、「スポーツでまちを元気に」をテーマに「スポーツイベント」を実行委員会体制により開催してまいります。

本別高校生のオーストラリア・ミッチェルへの海外研修派遣事業を実施します



本別町民芸芸「沖積土」は、第51号となり、オリンピック・パラリンピックの年であることから、「スポーツ」を特集テーマとして発刊いたします。

ほんべつ学びの日の取り組みにつきましては、学びを発信す

る、ほんべつ学びの日総合事業として「学びフェスタ」に、より多くの人に参加いただけるよう創意工夫するとともに、教育委員会、各学校の取り組みに対して、学びの日の理念の普及を図るため、各種事業の推進・充実に努めていきます。

文化振興につきましては、文化祭・音楽祭をはじめとする各種事業を開催するほか、町芸術文化事業振興会と連携して「ほんべつ寄席」を企画し、町民の皆さまに大衆娯楽文化を楽しんでいただく機会を提供してまいります。

図書館につきましては、本町出身の絵本作家「きくちちき」さんの著作本を貸出しセットにして、著者の情報とともに各小学校や保育所、こども園に常設するなど、子供たちの夢を育て、読書意欲につながる取り組みをします。

歴史民俗資料館につきましては、75年前の空襲を風化させないために平和の大切さを未来へ継承する「7月15日本別空襲を伝える」企画展をはじめ、「7・15 忘れられないプロジェクト」と関連講座を開催してまいります。スポーツ振興につきましては、町内小・中学校における「体力テスト」を学校とスポーツ推進委員が協力して実施し、子供た

ちの体力向上に向けた取り組みを行ってまいります。また、「健康スポーツ週間事業」を継続するとともに、「スポーツでまちを元気に」をテーマに「スポーツイベント」を実行委員会体制により開催してまいります。



スポーツでまちを元気にする新たなスポーツイベントを開催します

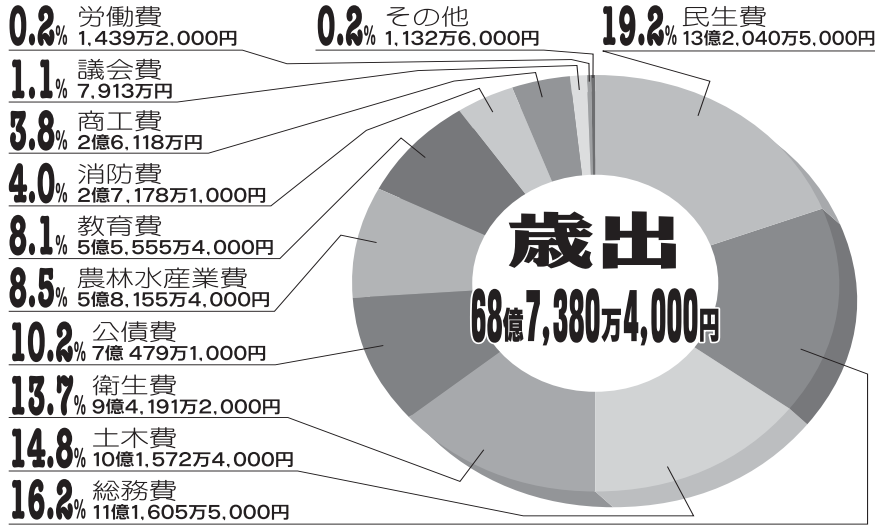
令和2年度本別町の予算

総額 117億240万5,000円

一般会計 68億7,380万4,000円

特別会計 32億2,593万2,000円

企業会計 16億 266万9,000円



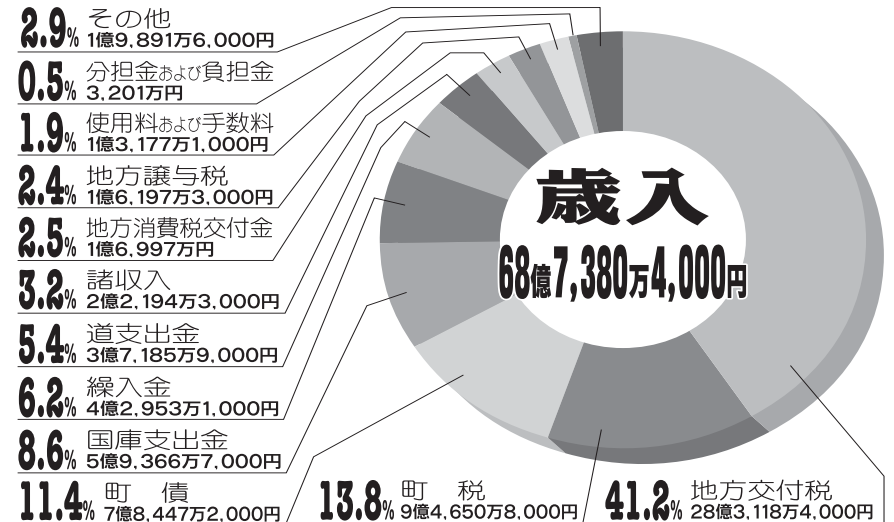
各会計別当初予算額

会計区分	本年度 A	前年度 B	差引 (A-B) C	C/B×100		
一般会計	68億7,380万4,000円	69億3,124万4,000円	△5,744万円	△0.8%		
特別会計	11億2,680万3,000円	11億6,440万5,000円	△3,760万2,000円	△3.2%		
国民健康保険	1億4,185万7,000円	1億3,281万8,000円	903万9,000円	6.8%		
後期高齢者医療	10億1,193万6,000円	9億8,184万4,000円	3,009万2,000円	3.1%		
介護保険事業	3億9,233万円	2億9,325万7,000円	9,907万3,000円	33.8%		
介護サービス事業	1億35万2,000円	1億2,136万1,000円	△2,100万9,000円	△17.3%		
簡易水道	4億5,265万4,000円	5億798万7,000円	△5,533万3,000円	△10.9%		
公共下水道	100億9,973万6,000円	101億3,291万6,000円	△3,318万円	△0.3%		
小計 (1)	100億9,973万6,000円	101億3,291万6,000円	△3,318万円	△0.3%		
企業会計	水道事業	収益的収入	1億5,382万6,000円	1億5,285万9,000円	96万7,000円	0.6%
	支出(2)	1億5,382万6,000円	1億5,285万9,000円	96万7,000円	0.6%	
	資本的収入	1,083万6,000円	5,738万7,000円	△4,655万1,000円	△81.1%	
	支出(3)	7,499万9,000円	1億2,299万9,000円	△4,800万円	△39.0%	
病院事業	収益的収入	11億1,510万5,000円	10億8,928万3,000円	2,582万2,000円	2.4%	
	支出(4)	12億4,354万5,000円	12億5,925万4,000円	△1,570万9,000円	△1.2%	
	資本的収入	9,053万1,000円	6,231万9,000円	2,821万2,000円	45.3%	
	支出(5)	1億3,029万9,000円	9,941万2,000円	3,088万7,000円	31.1%	
合計 (1)+(2)+(3)+(4)+(5)	117億240万5,000円	117億6,744万円	△6,503万5,000円	△0.6%		

一般会計予算の概要

一般会計予算の総額は、68億7,380万4千円です。前年度当初予算69億3,124万4千円と比較し、0.8%の減となっております。歳入については、町税はその13.8%を占めています。主として町民税の増を見込み、前年度当初予算と比較し2.1%増の9億4,650万8千円を計上しました。なお、町税のうち入湯税は、観光振興や環境衛生施設等の整備などに充てることを目的とした地方税で、379万1千円を計上しています。地方交付税は歳入の41.2%を占めています。交付税額算定における増減要因や公債費算入額の増加などを見込み、前年度当初と比較して2.1%増の2億3,118万4千円としました。繰入金金は、財政調整基金をはじめとした基

金繰入金を4億2,953万1千円とし、前年度と比較して28.1%の減となりました。町債は道路事業や消防車両の購入完了による普通建設事業の減などにより、前年度比0.5%減の7億8,447万2千円を計上しています。歳出は、防災対策として、防災行政無線の更新(デジタル化)に取り組み、今年度は屋外拡声子局設備の整備および住民への戸別受信機無償貸与による配備を行い、防災情報伝達手段の強化を図ります。また、教育関連事業では、国際理解教育の充実として、①認定こども園、へき地保育所での外国人講師による「子ども英語チャレンジ事業」を実施、②小・中学校への英語指導助手派遣および英語教諭の任用による、義務教育や高校への英語検定対策、生涯学習の場での活用・充実を図り、③国際理解教育、英語教育の集大成として、本別高校生の「オーストラリア・ミッチェルへの海外研修派遣事業」への支援を行います。投資的経費については、北8丁目団地公営住宅改善事業や道路改良舗装事業をはじめ、総額11億1,811万7千円を計上しました。その他主な事業は、12ページから17ページまでをご覧ください。



令和2年度の一般会計予算の主な事業について、ソフト事業、ハード事業に分けて説明します。

ソフト事業編 Part 1

活動や仕組み、技術、情報、サービスなど
※ソフト事業目的のため整備されるハード事業を含む

本別町総合計画の推進

第7次本別町総合計画策定（計画期間 令和3～12年度）
・審議会の開催、計画案のパブリックコメント（意見聴取）の実施

本別町行財政改革の推進

第5次行財政改革大綱の推進（平成28～令和2年度）
・補助金・事務事業の見直し



子育て支援の充実 乳幼児等医療費助成事業

令和2年8月1日から、安心して子どもを産み育てる環境の充実に係るため、乳幼児等医療費助成に係る所得制限を撤廃し、全ての高校卒業までの子どもに医療費助成を行います。

地域子ども・子育て支援事業

安心して子どもを育てられる環境づくりを進めるため、子ども・子育て支援法に掲げる以下の事業を実施します。

- ・利用者支援事業（基本型）
- ・地域子育て支援拠点事業
- ・一時預かり事業
- ・延長保育事業
- ・病児保育事業（体調不良時保育）
- ・ファミリーサポートセンター事業
- ・放課後児童健全育成事業（学童）など

多子世帯に対する 学校給食費の軽減

学校給食共同調理場で給食を提供している小・中学校および高校に在学している同一世帯の3人目以降の児童生徒に対して、学校給食費を全額免除します。

いきいき商品券 発行事業

いきいき商品券10,000円分4,000セット発行にあたり、プレミア率15%相当分を商工会へ補助します。

630万円

☆ほんべつポイント カード協同組合 先端機器導入事業

次世代型ポイントカードシステム導入事業

340万円

雇用対策事業の推進

○季節労働者雇用対策事業
旧美里別町営住宅、キャンプ場トイレ解体業務
333万円

○ワークシェアリング枠
（本別高校生2人）
408万9,000円

総事業費
741万9,000円

☆第8期銀河福祉タウン計画・ 第2次障がい福祉総合計画 策定事業

3年毎に策定している銀河福祉タウン計画および障がい福祉総合計画の最終年度となることから、次期計画の策定に取り組みます。

851万6,000円

☆地域福祉計画策定事業

5年毎に策定している地域福祉計画の最終年度となることから、次期計画の策定に取り組みます。

122万9,000円

☆防犯活動の充実

町民が安心・安全に暮らせるよう、関係機関等と連携し、各保有車両に「防犯パトロール中」のステッカーを貼り、町内を走行することで「見える防犯活動」を推進します。

25万1,000円

介護従事者就業支援等補助金

町内の民間介護サービス事業所において新たに就職する介護従事者の人を対象に、就業支援補助金（就職支度金、就業支援金）、住宅準備支援補助金、養育支援補助金を支給します。

829万円

介護職員初任者研修・ 福祉職場入門研修

これから介護サービスの仕事に従事しようとする人や介護知識を学びたい人を対象に、介護職員初任者研修として基本知識・技術の習得を支援します。

また、21時間程度の研修を受けることで、身体介護を伴わない生活援助技術を習得することができる福祉職場入門研修も併せて実施し、介護分野で働くことの不安を軽減し、介護を知る機会とします。

79万円

病院事業施設設備改修

電話交換機設備の更新

2,796万2,000円

不妊・不育症治療費 助成事業

妊娠・出産を望む人を支援するため、不妊または不育症治療を受けている人の経済的負担の軽減を図ります。

60万円

妊産婦支援事業

妊産婦のみなさんが安心して出産できるよう、妊産婦検診と出産にかかる交通費等の一部を助成します。

125万5,000円

特定健診および 各種がん検診の充実

845万8,000円

乳幼児・学童および高齢者 定期予防接種の充実

新規にロタウイルスワクチンの助成を開始します。

883万1,000円

☆食生活推進員 養成講座の開催

地域で食を通じた健康づくりを普及する推進員の養成講座を行います。

22万円



防災対策の推進

・防災行政無線更新事業（デジタル化）
防災行政無線の更新（デジタル化）を行い、住民への戸別受信機無償貸与による配備により、防災情報伝達手段の強化を図ります。

事業期間 令和元年度～令和2年度
令和2年度：屋外拡声子局設備16局、戸別受信機2,200台

1億8,150万円

☆情報活用教育の充実

小学校の新学期指導要領において、新たにプログラミング教育が必修化されたことから、授業に効果的な教育教材を導入し、学習への関心や意欲を高めつつ、子供たちのプログラミング的思考（論理的に考えていく力）の育成を図ります。



285万2,000円

本別高校の教育を考える会補助金

本別高校の存続および方向性を探るために調査・研究を進め、特色ある学校づくりを支援します。入学の準備にかかる制服の購入費補助や遠距離通学補助、下宿代補助などを行います。また、令和2年度から海外研修支援としてオーストラリア・ミッチェル研修費の補助を行います。（国際理解教育の充実に再掲しています）

3,985万6,000円

☆「ちきさんえほんばこ」の設置

令和元年度「本のまち夢づくり講演会」の講師で、本町出身の絵本作家きくちき氏（氏）の著書を貸出セットにして、著者の情報とともに各小学校や保育所・こども園に常設します。



15万3,000円

移住促進・観光振興事業

しごと体験交流館運営

地域産業を支える人材確保と本町への定着を図るための宿泊施設として、本町における就労体験や研修等を行う利用者の受け入れを行います。

365万1,000円

十勝東北部移住サポートセンター運営

- ・移住アドバイザー1人
- ・サポートセンター運営負担金

386万1,000円

地域おこし協力隊の任用

移住促進、観光振興、有害鳥獣捕獲推進分野のほかに、新たに農林業振興および健康スポーツに関する活動に従事する隊員3人を任用します。（継続3人、新規3人）

2,187万5,000円

十勝東北部観光地域づくり推進事業

- ・食と観光の商品力・販売力強化チャレンジ事業

800万円

国際理解教育の充実

☆子ども英語チャレンジ事業

こども園・へき地保育所に、英語を母国語とする外国人講師を派遣し、楽しみながら英語に触れ、国際感覚を育むことを目的に実施します。

- ・外国語指導講師派遣委託

590万7,000円

英語教諭および英語指導助手の配置

子供たちが英語で日常的なコミュニケーションを行うことができる力を身に付けられるよう小・中学校に英語指導助手（ALT）を派遣するとともに、引き続き英語教諭を任用し、義務教育や高校における英語検定対策、生涯学習の場での活用・充実を図ります。

608万5,000円

☆本別高校の教育を考える会補助金 海外研修支援（再掲）

本町の国際理解教育、英語教育の集大成として、本別高校生のオーストラリア・ミッチェルへの海外研修派遣事業を実施します。

1,249万2,000円
（全体事業費 3,985万6,000円のうち）

ソフト事業編 Part 2

活動や仕組み、技術、情報、サービスなど

※ソフト事業目的のため整備されるハード事業を含む

本別町住まいの環境整備促進事業

・住宅改修等助成交付事業

町内業者を利用した住宅リフォーム費用を一部助成します。

工事費30万円以上は10万円助成、空き家バンク登録物件の購入・賃借で工事費100万円以上は30万円助成

360万円

・住宅新築助成事業

町内に一定規模（50㎡・500万円以上）の自宅を新築し居住した際に100万円を助成します。（町内業者利用のみ助成）

300万円

・木造住宅耐震改修等助成事業

昭和56年5月31日以前に着工した木造住宅（2階建てまで）の耐震診断・耐震改修工事に対して助成します。（耐震診断…上限3万円、耐震改修…上限30万円）

36万円

本別町老朽空き家住宅除却支援事業

・空き家住宅等除却支援事業

隣接者に悪影響がある著しく管理不良な空き家住宅の除却を促すため費用の一部を助成します。（限度額 1件100万円）

300万円

新規就農者等支援事業

本町での就農を目指し、営農実習、農業体験、研修を実施しようとする新規就農予定者および受け入れ農家を支援します。また、新規就農者に対して農業経営の維持発展に必要な営農資材等を支援します。

2,578万円

農業次世代人材投資事業交付金

次世代を担う農業者（経営開始5年以内）の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、就農直後の所得確保を支援します。

6,000万円

町内間育成牛預託事業

酪農家の高齢化や規模拡大による労働力増大に対応するため、加重対策として育成牛の預託に対し支援します。

273万8,000円

（本町負担分 91万3,000円）

地域林政支援活動事業

地域林政アドバイザー制度を活用し、林地台帳の精度向上業務、森林経営管理制度に基づく森林所有者への経営管理意向確認調査などを実施します。

340万円

「ほんべつ健康ウイーク2020」の開催

運動やスポーツに取り組む活動強化週間を設定し、体育施設の無料開放や運動教室、各種講習会、体験教室などスポーツに触れる機会を提供することによって、健康づくりと運動・スポーツのきっかけづくりとして開催します。

23万7,000円

☆スポーツイベントの開催

「スポーツでまちを元気に」を合言葉に、町内外からの参加者によるイベント（9月予定）と町内限定のイベント（2月予定）の2本立てで実施します。今年度は、令和3年度の開町120周年に向けたプレイベントとしても開催します。

190万円

町有林造林事業

新植 4.24ha、下刈 29.52ha、
準備地拵 6.69ha、
保育間伐・枝打ち 3.22ha

1,263万2,000円

未来につなぐ森づくり 推進事業

民有林の植栽 68ha、準備地拵 40ha

1,593万8,000円

民有林造林促進事業

人工造林 3ha、下刈 170ha、
除間伐 30ha、根踏み 14ha、
造林未済地対策 67ha

598万7,000円

農業農村整備事業の推進

団体営事業

農地耕作条件改善事業

- ・ 共栄地区 明渠排水=210m
- ・ 西仙美里地区 調査設計

道営事業

道営畑地帯総合整備事業

- ・ 本別2地区 暗渠排水=100ha

3億3,200万円
(町負担分 1,990万8,000円)

☆地籍調査事業

令和3年度事業着手に向けての準備作業

70万3,000円

営農用水事業

美蘭別営農用水施設環境整備

減圧施設等フェンス設置 2施設、既設管路切替

388万1,000円

美蘭別営農用水防除施設量水器整備

防除施設用量水器φ20mm 8基

323万1,000円

道営美蘭別地区営農用水事業負担金

1億5,803万6,000円

道営西足寄地区営農用水事業負担金

1,317万8,000円

ハード事業編

建物、道路などの事業

☆高規格救急車更新

老朽化に伴い高規格救急車1台
を更新します。

3,087万9,000円

このほか
公営住宅整備事業として
事業費2,431万8,000円で
3事業を行います

☆北8丁目団地公営住宅 改善（個別改善）

2棟12戸 屋根改善

1,245万2,000円
(事務費除く)

このほか
道路橋りょう事業として
事業費2億9,091万7,000円で
8事業を行います

道路橋りょう事業

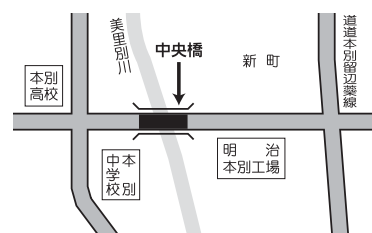
総事業費 3億8,741万7,000円（事務費除く）

○町道中央橋通り中央橋橋りょう補修工事
(平成30～令和2年度)

総延長=152m 舗装工事 9,200万円

○町道山手町通り舗装新設
(令和元～令和2年度)

総延長=53m 幅員=5.5m 450万円



★ 計画の概要 ★

○ 教育・保育の提供単位の設定

本別町の地理的条件、人口、交通事情などの社会条件、就学前教育・保育施設の立地状況、利用実態等を総合的に勘案し、本別町における教育・保育の提供単位は全町1区とします。

○ 教育・保育施設利用の見込みと提供体制

平成30年12月に行ったニーズ調査を基に、計画期間中のこども園、保育所等の利用見込みを算出し、受入態勢の整備計画を定めました。

本別町では、令和6年度までの利用見込みに対し、既存施設である幼保連携型認定こども園ほんべつおよび勇足へき地保育所で受け入れ可能であり、当面現行の体制を維持します。

○ 地域子ども・子育て支援事業の利用の見込みと提供体制

子ども・子育て支援に関するさまざまな事業について、令和6年度までの利用希望に対するサービス提供体制は、第1期計画期間中においてすでに整えられている状況です。今後は事業者の研修機会を確保するなど、利用者のニーズを的確に把握しながら、さらに利用しやすく、質の高いサービスが提供できる環境づくりを進めます。

○ 教育・保育の一体提供（認定こども園）の推進体制

本別町は、第1期計画において「すべての子どもの健やかな育成を主眼として検討した中で、教育・保育の一体的な提供体制を早期に整えることが望ましい」との考え方を示しました。それを受け、平成29年4月、市街地の2つの保育所と幼稚園の3施設を統合する形で、学校法人で運営する幼保連携型認定こども園が整備され、本町における子ども・子育て支援の拠点として大きな役割を担っていただいています。



今後は、こども園と町それぞれの果たすべき責務を明確にしつつ、お互いの立場を尊重し、連携しながら子育て環境の充実を進めます。

○ 子どものための各種給付の円滑な実施

こども園、保育所の利用にあたっては、教育・保育に係る費用の一部を保護者への給付という形で公費負担とし、残りを利用者負担（保育料）として保護者に負担いただいています。令和元年10月からは、3歳以上児の教育・保育に係る費用の全てを給付することにより、幼児教育・保育の無償化を実現しました。これらの給付費は、保護者の手を煩わせずにサービス提供事業者に確実に渡るよう、町から事業者へ直接支払う法定代理受領方式で行います。



この計画により、保護者のみが抱え込むのではなく、まち全体で子育てを担い、子どもの笑顔があふれるまちづくりを目指します。地域全体が子育てに関心を持ち、本別町の未来を担う子供たちがすくすく成長できるよう、より良い環境を作り上げましょう。

問い合わせ 子ども未来課 子ども・子育て支援担当 ☎22-8130



町では、令和2年度から令和6年度までの5年間を計画期間とする「第2期 本別町子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。

この計画は、本別町における幼児教育・保育や子どもの支援、子育て支援に関する事業について、その推進体制の整備の方向性を示したものです。策定にあたっては、これまでの子ども・子育て支援策を検証するとともに、町内すべての子育て世帯を対象に実施したニーズ調査の結果や、本別町子ども・子育て会議での意見を踏まえて取りまとめました。

子育ては、第一義的責任が保護者にあるとの基本的認識を前提としながらも、地域、学校、職場、行政など、社会におけるあらゆる分野の構成員が子育ての意義について理解を深め、保護者に寄り添い、子どもと保護者の成長を支援することが重要です。

このような基本的な考え方は第1期計画策定時から変わることとはなく、その基本理念を継承し、子どもの成長と子育てのすばらしさを喜び合える社会の形成を目指します。

「子どもの笑顔は地域の宝
地域で支えぬ子ども・子育て」

計画の基本理念



「第2期 本別町子ども・子育て支援事業計画」

を策定しました

受賞おめでとうございます

令和元年度 町少年少女文化・スポーツ奨励賞

令和元年度本別町少年少女文化・スポーツ奨励賞が、2月21日の町教育委員会で決定しました。今年度は、文化奨励賞に9個人、スポーツ奨励賞に14個人、2団体の皆さんが受賞されましたので、紹介します。

少年少女文化奨励賞

川内 琉翔さん(勇足小3年)
令和元年度十勝子ども大会
絵画の部……………特選



林 遙真さん(勇足小4年)
第10回日本バツハココンクール全国大会
小学3・4年A部門……………銅賞



加藤 大翔さん(中央小5年)
全日本書芸文化院全国書初大会
……………準文化院賞
山田 咲矢花さん(勇足中1年)
令和元年度十勝子ども大会
美術作品の部……………特選



吉村 華瑠さん(本別中2年)
第32回国際平和ボスターコンテスト
……………最優秀賞

少年少女スポーツ奨励賞

【個人】

北原 七楓さん(中央小1年)
第39回北海道少年少女空手道錬成大会
形 小1女子の部……………優勝
第41回十勝地区空手道選手権大会
形 小学1・2年女子の部……………優勝
佐藤 叶明さん(中央小2年)
第31回全十勝スポーツ少年団水泳交歓大会
小学2年男子25m背泳ぎ……………第1位



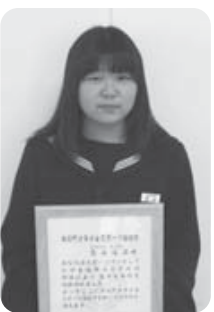
宮本 隆心さん(本別中3年)
第21回北海道ジュニア陸上競技選手権大会
男子A110mH……………第5位



井内 千尋さん(勇足中1年)
第37回全十勝中学校新人陸上競技大会
中学女子1500m……………第1位



濱名 勇汰さん(中央小6年)
第34回全十勝小学生対抗相撲選手権大会
小学6年生男子の部……………優勝



志谷 遥名さん(本別中3年)
第21回北海道ジュニア陸上競技選手権大会
女子A砲丸投……………第6位



松井 翔耶さん(本別中3年)
第41回十勝地区空手道選手権大会
形 中学生男子の部……………優勝

【団体】
本別水泳スポーツ少年団(5人)
第23回北海道新聞社杯十勝年輪別水泳競技大会
混合8歳以下4×25mフリーリレー……………第1位
第31回全十勝スポーツ少年団水泳交歓大会
混合100mフリーリレー……………第1位

本別サッカー少年団(18人)
フクハラ杯スプリングフェスティバルAブロック……………優勝

【個人】

井上 咲月さん(中央小2年)
第38回帯広珠算競技大会
個人総合競技小学2年以下の部……………優勝
岡林 泰雅さん(勇足小2年)
令和元年度十勝子ども大会
絵画の部……………特選
加藤 文琉さん(中央小3年)
全日本書芸文化院全国書初大会
……………特選賞

佐藤 ひなのさん(中央小2年)
第31回全十勝スポーツ少年団水泳交歓大会
小学2年女子50m自由形……………第1位
塚谷 将人さん(中央小3年)
第23回十勝選手権水泳競技大会
男子8歳以下100m自由形……………第1位
第23回北海道新聞社杯十勝年輪別水泳競技大会
男子8歳以下50m平泳ぎ……………第1位
第31回全十勝スポーツ少年団水泳交歓大会
小学3年男子50m自由形……………第1位
山下 仁来さん(中央小4年)
第37回北海道小学生陸上競技大会帯広会場
小学4年男子走幅跳……………第1位
小川 祥生さん(中央小5年)
第44回幕別町陸上競技記録会
小学5年男子80mH……………第1位
中田 雅玖さん(中央小5年)
第41回北見練心会杯全道少年少女柔道大会
個人戦男子の部小学生高学年5・6年……………第3位
第10回十勝カップ秋季柔道大会
個人戦男子小学5年生の部……………第3位
湧別町少年柔道大会「上野カップ2019」
個人戦小学5年生男子の部……………準優勝

西岡 優希さん(本別中2年)
第37回全十勝中学校新人陸上競技大会
中学女子砲丸投……………第1位
第21回北海道ジュニア陸上競技選手権大会
女子B砲丸投……………第8位
第26回北海道中学校新人陸上競技大会
女子砲丸投……………第8位

HELLO 勇足中学校

勇足中学校教育目標

- (知) 創造性豊かで高い知性を養う
- (徳) 豊かな人間性を育てる
- (体) 強靱で粘り強い体を鍛える

勇足中学校（椿原雅章校長・全校生徒20人）では、「みんなで良い学校を創ろう」をテーマに、地域・保護者の方々のご協力をいただきながら、小規模校の特性を生かした授業や学校行事等、日々の教育活動に取り組んでいます。



勇足水運動会

手に汗握るタイプライ奪い



花壇整備

老人クラブの皆さんと



宿泊学習

対決！カレーコンテスト



十勝子ども大会

大迫力のよさこい

学校で学び・家庭で育ち・地域で伸びる みんなで良い学校を創るついで



新体カテスト

勇足小・中合同で挑戦



食育

JA勇足美帯青年部の指導で



公民館窓ふき

きれいにピカピカ！



勇足地区公民館まつり

合唱に拍手喝采

本別町地域包括ケア報告会



本別町地域包括ケア報告会（町主催）が、2月16日、中央公民館で開催され、町内の関係者など約60人が参加しました。
町では、いつまでも住み続けられるまちづくりを目指し、地域包括ケアシステムの構築に向け、地域包括ケア研究所（鎌田実所長）と連携し「地域包括ケアプロジェクト」として平成29年からさまざまな取り組みを行ってきました。



3年間の成果を説明する地域ケア研究所 藤井さん

第1部では、地域包括ケア研究所の藤井雅巳さんが、これまでの3年間の取り組みから、人口減・少子高齢化等の課題があったとしても、これまでと同様の暮らしを維持するためには多くの人が関わり支え合う地域のカタチ「地域包括ケア」が必要と説明。具体的な取り組みとして、鎌田所長や町国保病院医師らが直接地域に Outreach 健康講話などを行う GENKIくんプロジェクトをスタートさせるなど、小さな「健康づくりの芽」が芽生え始めました。また人材確保では、医療者や学生など全国から43人の医療・福祉の専門家が集う星空キャンプを実施し、これらきっかけに医療機関との連携が生ま



横浜市立大学特任教授 伴さん

れ、町国保病院に研修医が実習に訪れるなど「人材確保の芽」も生まれています。公立病院改革では、現場発で作った新公立病院改革プランを皮切りに、地域連携室の開設、地域へ出向く取り組みなどを行い、外来収入の下げ止まりと入院患者の増加という「病院改革からの芽」が出たきたと話ししました。その他町内の魅力的な人をインターネットサイトで紹介する「HOTほんべつ」は、働き手、交流人口の増加など「可能性の芽」が出たとし、本町の「地域包括ケアの現在地」を知り、これからのまちづくりにつなぐためには、これからの芽を育てていくのは、今日参加している私たちに外ならないと結びました。

第2部では、「地域包括ケアシステムという新たな医療のカタチ」この町で暮らし続けるために必要な町民参加型システム」と題して、横浜市立大学特任教授伴正海さんによる講演が行われました。講演では、救急医療の目的は住民の命を守ることを救急で運ぶ意味であり、老衰の人に問いかけ、本来の救急医療の意味を伝えました。また、医療スタッフが出向く座談会などを開催し、地域の人と密接につながることが必要であり、まちづくりや教育が健康に影響していると話ししました。結びに、「人間は誰しも死は避けられませんが、だからこそ、それぞれの人がどう生きて逝くのかを考え、それを実現するためにはどうしたらよいか。それらを積み上げたものが地域包括ケアシステムです」と語りました。

最後に、この地域包括ケアプロジェクトリーダーである、町国保病院郡山智也副院長より、「今後の本別町を担う小さな芽が提示されました。まちの皆さんにどう信頼されよう行動すべきなのか。多くの人とつながっていくことが地域包括ケア成功の近道です」とあいさつし、報告会を閉会しました。

もちつきで世代間交流 2 20

小規模多機能型居宅介護事業所のゆうあいの里による、勇足もちつき交流会が2月20日、勇足地区公民館で行われました。この日は、ゆうあいの里の利用者のほか、同地区の保育所の幼児から小・中学校の子供たちなど約120人が参加。勇足地区の子育て支援グループ「ゆうゆうサークル」とゆうあいの里運営委員会の協力のもと、おもちをついたり、あんこもち作りを体験しました。最後には、参加者全員でつくってきたのおもちを味わいながら会話を弾ませ、世代を超えた交流を楽しみました。



中央小児童と町長が まちの未来を語る 2 20

本別中央小学校（式見祝賀校長）の6年生39人を対象にした「町長と本別を語る授業」が2月20日、同校で行われました。これは、6年生の社会科の授業「わたしたちの生活と政治」として実施されたもので、最初に高橋正夫町長が自身の小中高生時代の遊びや仲間との思い出、その頃のまちの様子を語ったほか、「皆のことを思いやれるような大人になってほしい」と話しました。児童からは、「安心して遊べる広場を作してほしい」「愛のかけはしの音楽を変更してほしい」などと要望がありました。



ディスコンで若者が交流 2 21

ほんべつ若者の輪創造プロジェクト実行委員会（細田拓郎実行委員長）による交流イベント「ディスコンで交流しNight」が2月21日、町体育館で開かれました。イベントには、町内外の20～30代の男女約40人が参加。軽スポーツの「ディスコン」で汗を流したほか、目隠しをしてジュースや豆の種類を当てる「格付けチェック」ゲームが行われ、参加者同士会話を弾ませ、交流を深めました。



身の守り方を楽しく学ぶ 2 12

本別消防団（伊藤英昭団長）による防災や日常の危険から身を守ることを学ぶ「ぼうさいダック」（カードゲーム）が2月12日、仙美里保育所で行われました。この日は、同消防団の女性団員6人などが同保育所を訪問しました。女性消防団員から幼児たちに災害時の身の守り方を説明した後、ゲーム形式で「火事」や「地震」などの描かれたカードを提示。幼児たちは、カードに指定された「タヌキ」や「アヒル」のポーズを取り、災害発生時の身の守り方を楽しみながら学びました。



室内陸上 2 16

本別陸上クラブ（我妻勇次会長）主催による第40回本別町室内陸上競技会が2月16日、銀河アリーナで開催されました。管内年明け初戦となる同競技会では、トラックとフィールドの全24種目が行われ、十勝管内外の小学生から一般まで26団体233人が出場し、冬場の練習の成果を確認しながら、全力で競技に挑みました。



勇足地区挙げてのイベント 2 15

勇足地区挙げてのイベント、第38回勇足地区公民館まつり（実行委員会主催）が2月15日、同公民館を主会場に開催されました。会場には、同地区の幼児や小・中学生などによる工作、絵画など多数の作品が展示されたほか、2部にわかれた芸能発表会では、11団体18個人が出演。お遊戯やカラオケ、民謡などを発表し、会場に詰めかけた約200人の来場者から大きな歓声と拍手が送られました。



国民年金 20歳以上の 学生のみなさんへ 学生納付特例制度のお知らせ

日本国内に住むすべての人は、20歳になった時から国民年金の被保険者となり、保険料の納付が義務づけられています。学生については、申請により在学中の保険料の納付が猶予（先送り）される制度があります。

学生納付特例制度はどんな制度？

学生時代は、一般的に所得がないため、卒業後などに保険料を納付できる制度です。対象となる人は、大学（大学院）、短大、高等学校、高等専門学校、専修学校などに在学する、前年所得が118万円以下の学生です。

この制度を活用することで、学生の人が、不慮の事故や病気により障害が残ってしまった場合等、障害基礎年金等を受給できなくなることを防止できます。



年金を受け取るときはどうするの？

「納付」学生納付特例「未納」の場合のようになっています
「納付」学生納付特例

保険料未納	保険料納付	学生納付特例	受給資格期間（年金額）	もらえる？（増える？）	老齢基礎年金	もらえる？	障害基礎年金	もらえる？
○	○	○	○	○	○	○	○	○
×	×	×	×	×	×	×	×	×

※10年以内で追納を行うことにより、年金額を補うことができます。ただし、承認を受けた期間の翌年度から数えて3年目以降に追納する場合は、当時の保険料額に一定額が加算されます。

【申請先】

- 役場住民課戸籍年金担当窓口またはお近くの年金事務所
- 【必要なもの】
- ・マイナンバーカードまたは通知カードと本人確認書類（運転免許証等）
- ・学生証または在学証明書
- ・年金手帳

◎申請時点から2年1か月前までの期間について、さかのぼって申請することができます。

【ハガキ形式の「学生納付特例申請書」が届いた学生さんへ】
引き続き同一の学校に在学している人は、ハガキに必要な事項を記入し返送することで、令和2年度の申請ができます。（この場合学生証等の添付は不要です）

帯広年金事務所
01551-2508-113
詳細は
住民課 可籍年金担当課へ
0202-812128
日本年金機構のホームページは
<https://www.nenkin.go.jp/>

みんなの健康

428

日本人の20%以上の人が何らかのアレルギー疾患に悩み、アレルギーはまさに現代病の一つといえます。大人になってから急に発症するアレルギーの代表的なものに「花粉症」があります。花粉症の主な症状は、くしゃみ・鼻水・鼻づまりですが、鼻のかゆみや頭痛のほか、花粉が目に入ると結膜でもアレルギー反応が生じることもあります。花粉症対策の基本は、徹底的に花粉を断つということです。外出の際は顎や鼻が出ないよう顔の大きさに合ったサイズのマスクをしてください。北海道の花粉飛散は4月上旬ごろと予想されますが、最近では飛散を始めてから短期間で花粉の量が急増するため、毎年発症する患者さんは早めに薬などを準備しましょう。症状が出てすぐに治療を開始すれば少ない薬で症状を抑え込むことができますので、

花粉症のおはなし



本別町国民健康保険病院
副看護師長
本寺 薫

早めに適切な診断と治療を受けることをお勧めします。当院の耳鼻咽喉科に受診していただくと、①問診の後、②医師が鼻鏡という器具を用いて鼻の粘膜が赤く腫れていないかなどを観察し、③少量の血液検査で、北海道で発症しやすい花粉(シラカバ、ブタクサ、カモガヤ等)に加え、ハウスダストやペット等に対してのアレルギーがあるかどうかを調べます。5日間前後で検査結果が分かります。症状に合わせた薬が処方されます。保険適用のアレルギー検査料金は3割負担で33000円程度です。今年、道内のシラカバ花粉の飛散量は、昨年と比べて非常に多いと言われています。前触れなく、鼻水が止まらない、目がかゆくなるといった症状が出たら花粉症やアレルギーが潜んでいるかもしれません。自己防衛として寝不足や過労を避け、しっかりと休養をとって体の抵抗力を高めることも大切です。

未来に輝く子どもたち



拓農 佐々木 蓮斗くん
(かおいらん)

本別町の未来を担うかわいい星たちです。
お父さん、お母さんのたくさんの愛に囲まれて、すくすく元気に育つてね！



※写真は本人に了解を得た上で掲載しています。

2/23

日ごろの練習の成果を披露

ほんべつ学びの日夢風事業「第43回舞踊と民謡の祭典」(町文化協会、町教育委員会主催)が2月23日、中央公民館で開催されました。ステージには、同協会加盟団体などから10団体33人が出演。舞踊や民謡、フラダンスなど、日ごろの練習の成果を23演目で披露したほか、舞踊と民謡が共演した十勝小唄や出演者と来場者が踊る本別小唄などの演目が用意されるなど、来場者約150人とともに大いに盛り上がりました。



2/22

キンボールで交流

町スポーツ少年団交歓大会(町スポーツ少年団本部主催)が2月22日、町体育館で行われました。大会は、毎年恒例のキンボールを実施し、町内の4少年団から5チームが参加。試合は、4人1チームの3チームごとの対抗戦で行い、直径1.22mのボールをヒットとレシーブを繰り返しながら得点を競い合いました。参加した約30人の団員らは、チームの皆で協力しながら大きいボールを落とさないよう全力でプレーし、爽やかな汗を流しました。



まちの情報を広報電算担当へお寄せください ☎22-8121

プレイバックタイム

銀河ホップアップ

足寄町

町民センター1楼

「オンネトー」の自然を写真展

2019オンネトーフォトコンテストに寄せられた作品のうち、最優秀作品を含む約20点を展示する写真展を実施します。オンネトーの大自然を広く親しんでもらえるような四季の風景写真となつていきますので、ぜひご覧ください。

□期間 4月29日(水)～5月10日(日)

□開館時間 午前9時～午後10時



陸別町

2020ふるさと銀河線

「ふるさと銀河線りくへ」鉄道の今年度の運行が始まります。国内最長を誇る運転体験やご家族で楽しめる「トロ」の乗車体験で皆さんのご来場を待ちしております。

□営業時間 午前9時～午後4時30分

※気動車乗車体験、運転体験Sコース(予約優先)、トロ「乗車体験」が楽しめます。

※運転体験「銀河コース」(完全予約制)についてはお問い合わせ下さい。

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止の為、営業時間等に変更がある場合があります。

□お問い合わせ
ふるさと銀河線りくへつ鉄道 ☎271-2244

ご寄付ありがとうございます

令和2年2月16日から3月15日

次の通りご寄付をいただきました。紙上にて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

★本別町特別養護老人ホーム物品購入費指定
金 20,000円 名寄市 小野 昇

★本別町児童発達支援センターよつば指定
知育玩具、教材 15点
..... 本別ライオンズクラブ 会長 方川 一郎

個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付
計金 5,792,000円 275人

本のある暮らし

229

とってもだいすき! ドラえもん

戸籍のまど

お誕生

2月後半から
3月前半の
届出分

山中緋奈子^{ひなこ}ちゃん 佐馬^{さま}さん 2/19 チエイト1

高長根綾人^{あやと}くん 雄太^{ゆうた}さん 2/29 清流町

ご結婚

(河野 綜太^{そうた}さん 勇足西2
小原 裕恵^{ゆゑ}さん 釧路市

おくやみ

久保 雅之^{あきゆき}さん 64歳 2/14 南4丁目

小林 正高^{まさたか}さん 65歳 2/17 新 町

三島 貞子^{さだこ}さん 93歳 2/17 仙美里元町

松山 誠一^{まこと}さん 69歳 2/21 向陽町

高橋 精一^{しんいち}さん 84歳 2/23 錦 町

永江 徳太郎^{とくたろう}さん 94歳 2/23 明 美

今野 滋夫^{しずお}さん 80歳 2/29 東 町

佐久間 良雄^{りょうゆう}さん 77歳 3/2 柳 町

和田 幸子^{ゆきこ}さん 57歳 3/3 北3丁目

松本 百合子^{ゆりこ}さん 80歳 3/5 共 栄

石丸 ユキ子^{ゆきこ}さん 99歳 3/6 弥生町

本木 邦子^{くにこ}さん 78歳 3/7 山手町

藤井 捷子^{たけこ}さん 78歳 3/9 南2丁目



ぼく、ドラえもん

ドラえもんは、藤子・F・不二雄さんが1969年に連載開始した漫画作品です。未来からやってきたネコ型ロボットのドラえもんがのび太くんのためにひみつ道具を使って活躍する姿は、今なお多くの人々に愛され続けています。



ドラえもん と 科学

ドラえもん と 英語

映画版のDVDや漫画も

このほかドラえもんの新着本もたくさん!

4月25日(土)は としょかんこどもまつり

開催
予定

ただいま図書館では、読み聞かせやワークショップなど、いろいろなイベントを考え中!ぜひ遊びにきてみませんか?詳しくは4月15日号からの情報紙かけはしで!

わたしたちのまち

前月比

人口 **6,839人(-44)**

男 **3,341人(-29)**

女 **3,498人(-15)**

世帯数 **3,581戸(-30)**

〔2月末日住民基本台帳〕

お問い合わせ先

本別町図書館

(愛称:ぶつくる一丸)

本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112